

基礎(杭)

03018

杭の位置ずれ

年度	2000年完成(2007年調査)
場所	千葉県八街市
構造	木造在来軸組工法
階数	2階
延べ面積	126 m ²
用途	一戸建ての住宅

瑕疵の特徴

1. 杭打工事報告書に記載された杭の位置が、基礎仕上面より80 mm程度離れた位置にあり、杭が完全に基礎から外れている。
2. 建物に作用する荷重及び外力は全く杭に伝達されておらず、不同沈下の原因ともなっている。



解説

杭は全て同方向に100～300 mm程度ずれている。つまり、南面は殆ど基礎の外側に外れており、北面は本来の位置より建物内側にずれている。杭打ち工事施工後に建物配置を変更したために生じたものである。平成12年建設省告示第1347号第1第2項一号(基礎ぐいは、構造耐力上安全に基礎ぐいの上部を支えるよう配置すること)違反である。